

令和2年度バイオマスプラスチック利活用検討業務
報告書

地方公共団体における指定ごみ袋への
バイオプラスチック等の導入に係るアンケート調査結果
(抜粋)

令和3年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

<目次>

地方公共団体における指定ごみ袋へのバイオプラスチック等の導入に係るアンケート調査結果	1
1. アンケート調査の概要	1
2. バイオプラスチック等指定袋の導入状況	2
3. 年間販売量・価格の設定	6
4. 製品の概要・調達方式	9
5. 導入の目的・経緯	15
6. 導入に向けた課題・導入に向けて必要な情報	16
7. 生分解性プラスチック製指定袋の処理	20
8. その他の調査結果	21
8.1 関連政策の認知度	21
8.2 ごみ処理有料化の実施状況	21
8.3 家庭系ごみ・事業系ごみの収集・処理	22
8.4 その他のごみ袋の導入	26

地方公共団体における指定ごみ袋へのバイオプラスチック等の導入に係るアンケート調査結果

1. アンケート調査の概要

アンケート調査の概要

■ 調査の背景と目的

- 地方公共団体等におけるバイオプラスチック製ごみ袋の導入に関するガイドライン策定の基礎資料とするため、**指定ごみ袋へのバイオプラスチック等の導入に係る調査**を実施。
- 既にバイオプラスチック等指定ごみ袋に導入している市区町村においては「導入の概要・経緯、及びその効果や課題」等を把握、また導入していない市区町村においては「導入に向けた意向、導入を想定した際に想定される課題」等を把握。

■ バイオプラスチック等について

- 本調査では、「バイオプラスチック(バイオマスプラスチックと生分解性プラスチックの総称)」、および「**バイオマス複合プラスチック**(バイオマス素材(でんぷん、木粉、竹粉、紙粉、古米・古々米、農業残渣等)とプラスチックを混練したもの)」をあわせて「バイオプラスチック等」とし、調査の対象とする。

“バイオプラスチック等”の定義

		用語	定義
本調査の対象 “バイオプラスチック等”	バイオプラスチック		バイオマスプラスチックと生分解性プラスチックの総称
		バイオマスプラスチック	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するプラスチック素材
		生分解性プラスチック	プラスチックとしての機能や物性に加えて、ある一定の条件の下で自然界に豊富に存在する微生物などの働きによって分解し、最終的には二酸化炭素と水にまで変化する性質を持つプラスチック
	バイオマス複合プラスチック (バイオコンポジット)		紙粉、木粉、貝殻粉、CNF(セルロースナノファイバー)等のバイオマス素材をプラスチックとの複合素材化したもの

調査方法・調査期間・有効回答数

■ 調査方法

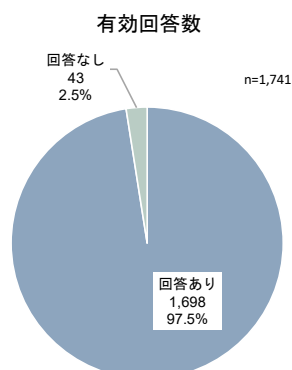
- 環境省から都道府県を通じて各市区町村に対し、メール発送及び電子調査票により実施。市区町村からの回答を都道府県で回収・集計した後、調査票の回収を行った。

■ 調査期間

- 2020年11月25日(水)～12月25日(金)

■ 有効回答数

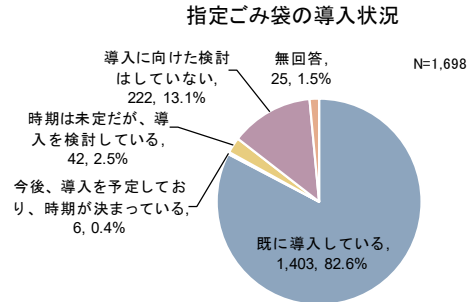
- 1,698件(97.5%)



2. バイオプラスチック等指定袋の導入状況

指定ごみ袋の導入状況

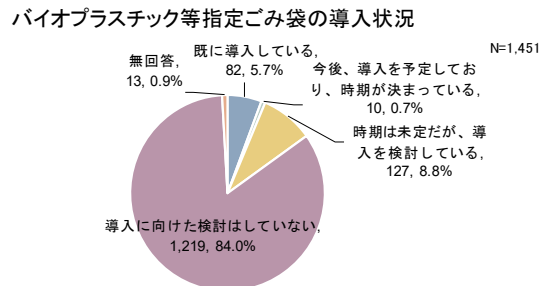
- 全市区町村に対し、自治体指定ごみ袋の導入状況について伺った。
 - ・「既に導入している」が82.6%、「今後、導入を予定しており、時期が決まっている」が0.4%、「時期は未定だが、導入を検討している」が2.5%、「導入に向けた検討はしていない」が13.1%であった。



☆人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	35 100.0%	250 100.0%	254 100.0%	1,159 100.0%	1,698 100.0%
1. 既に導入している	17 48.6%	168 67.2%	207 81.5%	1,011 87.2%	1,403 82.6%
2. 今後、導入を予定しており、時期が決まっている	0 0.0%	2 0.8%	3 1.2%	1 0.1%	6 0.4%
3. 時期は未定だが、導入を検討している	3 8.6%	11 4.4%	7 2.8%	21 1.8%	42 2.5%
4. 導入に向けた検討はしていない	15 42.9%	66 26.4%	35 13.8%	106 9.1%	222 13.1%
無回答	0 0.0%	3 1.2%	2 0.8%	20 1.7%	25 1.5%

バイオプラスチック等指定ごみ袋 導入状況

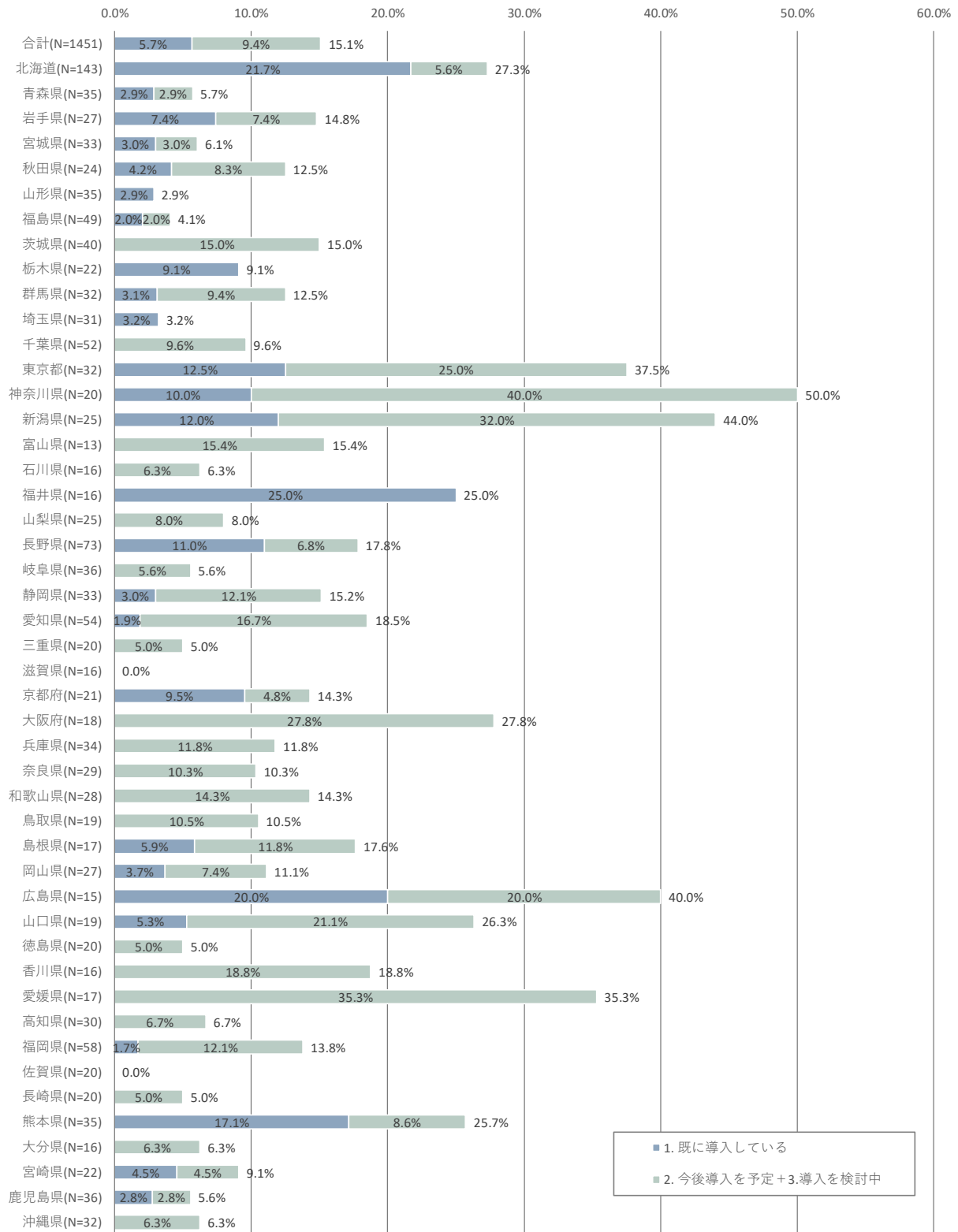
- 指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋の導入状況を伺った。
 - ・「既に導入している」が5.7%、「今後、導入を予定しており、時期が決まっている」が0.7%、「時期は未定だが、導入を検討している」が8.8%、「導入に向けた検討はしていない」が84.0%であった。
 - ・なお人口カバー率では、「既に導入している」が6.3%、「時期は未定だが、導入を検討している」は18.9%であった。



☆人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	20 100.0%	181 100.0%	217 100.0%	1,033 100.0%	1,451 100.0%
1. 既に導入している	4 20.0%	8 4.4%	8 3.7%	62 6.0%	82 5.7%
2. 今後、導入を予定しており、時期が決まっている	0 0.0%	4 2.2%	5 2.3%	1 0.1%	10 0.7%
3. 時期は未定だが、導入を検討している	11 55.0%	27 14.9%	19 8.8%	70 6.8%	127 8.8%
4. 導入に向けた検討はしていない	5 25.0%	141 77.9%	183 84.3%	890 86.2%	1,219 84.0%
無回答	0 0.0%	1 0.6%	2 0.9%	10 1.0%	13 0.9%

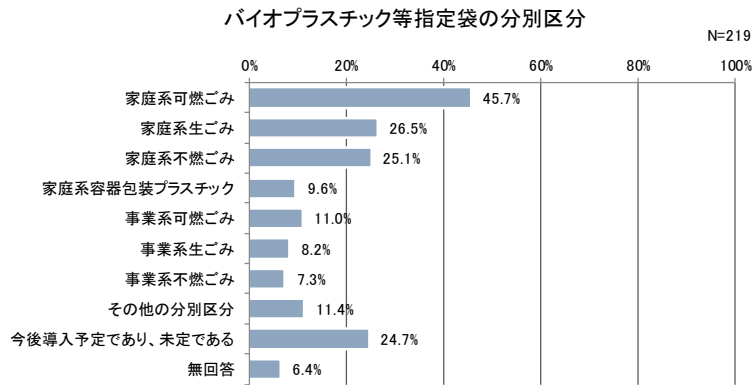
バイオプラスチック等指定ごみ袋 導入状況(都道府県別)

■ バイオプラスチック等指定ごみ袋の都道府県別の導入・検討状況は以下の通り。



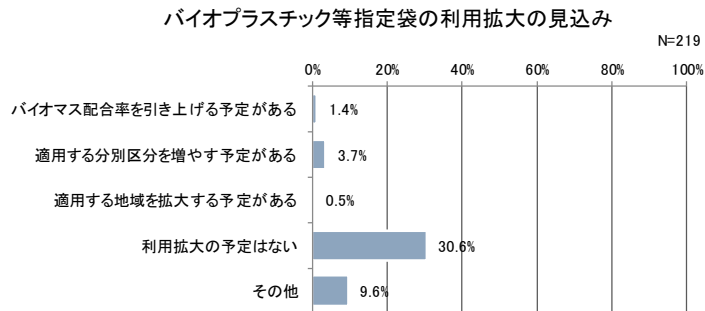
バイオプラスチック等指定袋の分別区分

- バイオプラスチック等指定袋を既に導入（導入を検討）している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋を使用するごみの分別区分について伺った。
 - 「家庭系可燃ごみ」が45.7%、「家庭系生ごみ」が26.5%、「家庭系不燃ごみ」が25.1%、「今後、導入予定であり、未定である」が24.7%であった。



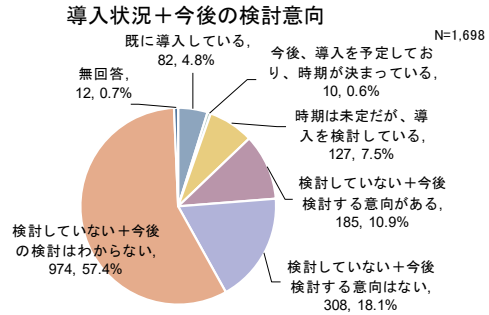
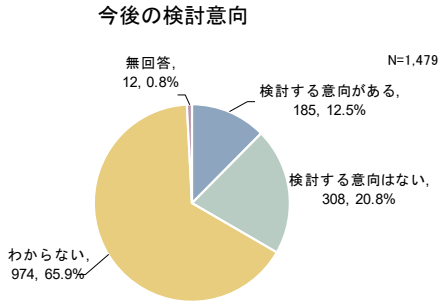
バイオプラスチック等指定袋の利用拡大の見込み

- バイオプラスチック等指定袋を導入（または検討）している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋の利用拡大の見込みについて伺った。
 - 「利用拡大の予定はない」が30.6%、「適用する分別区分を増やす予定がある」が3.7%、「バイオマス配合率を引き上げる予定がある」が1.4%、「適用する地域を拡大する予定がある」が0.5%であった。



今後の導入の検討意向(検討していない自治体)

- バイオプラスチック等指定袋の導入を検討していない市区町村に対し、今後の検討意向を伺った。
 - 導入を検討していない市区町村のうち、「検討する意向がある」が12.5%、「検討する意向はない」が20.8%であった。
 - 既に導入しているケースも合わせて比較すると、「既に導入している」「今後、導入を予定しており、時期が決まっている」「時期は未定だが、導入を検討している」「今後検討する意向がある」が、全市区町村の23.8%を占めた。



★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	20 100.0%	211 100.0%	222 100.0%	1,026 100.0%	1,479 100.0%
1. 検討する意向がある	5 25.0%	38 18.0%	35 15.8%	107 10.4%	185 12.5%
2. 検討する意向はない	3 15.0%	50 23.7%	41 18.5%	214 20.9%	308 20.8%
3. わからない	12 60.0%	123 58.3%	145 65.3%	694 67.6%	974 65.9%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	11 1.1%	12 0.8%

3. 年間販売量・価格の設定

指定ごみ袋の年間販売量

- 指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、指定袋の年間販売量を容量ごとに伺った。
 - ・ 家庭系可燃ごみ袋が267,319万枚、家庭系生ごみ袋が8,696万枚、家庭系容器包装プラスチック袋が16,465万枚、事業系可燃ごみ袋が16,846万枚、事業系不燃ごみ袋が1,157万枚であった。

指定ごみ袋の年間販売量

	年間販売量(万枚/年)					
	家庭系可燃ごみ	家庭系生ごみ	家庭系容器包装プラスチック	事業系可燃ごみ	事業系不燃ごみ	その他の分別区分
5L以下	7,956	1,557	104	4	4	301
5L～10L以下	23,614	1,274	782	32	6	2,885
10L～15L以下	7,247	361	508	224	17	204
15L～20L以下	43,939	1,025	2,670	176	45	6,225
20L～25L以下	10,005	178	560	23	8	885
25L～30L以下	50,240	836	3,662	753	94	5,705
30L～35L以下	7,842	151	141	10	3	149
35L～40L以下	21,801	237	1,286	673	88	1,554
40L～45L以下	90,798	2,816	5,922	5,609	673	6,884
45L～50L以下	2,457	244	493	149	15	78
50L～60L以下	849	0	295	291	8	16
60L～70L以下	401	8	34	2,201	116	5
70L～80L以下	35	7	1	80	0	0
80L～90L以下	56	0	7	6,509	79	14
90L～	79	0	0	113	0	0
合計	267,319	8,696	16,465	16,846	1,157	24,904
回答件数(件)	964	120	319	198	116	277

バイオプラスチック等指定袋の導入状況別 年間販売量(重量換算)

- 指定ごみ袋の年間販売量について、容量別に重量を仮定して重量換算し、バイオプラスチック等指定袋の導入状況とクロス集計を行った。
 - ・ 年間販売量の合計は55,726t、うちバイオプラスチック等指定袋が3,311t、導入予定・検討中が合計で3,775tであった。
 - ・ なお、日本経済総合研究センター「包装資材シェア辞典(2018年版)」において、2017年の自治体指定入れごみ袋の需要量は59,180t/年とされており、本推計と大きな差異はない。

バイオプラスチック等指定袋の導入状況別 指定袋年間販売量(t/年)

	合計	家庭系可燃ごみ	家庭系生ごみ	家庭系容器包装プラスチック	事業系可燃ごみ	事業系不燃ごみ	その他の分別区分
全体	55,726 100.0%	42,354 100.0%	1,154 100.0%	2,808 100.0%	5,463 100.0%	273 100.0%	3,674 100.0%
バイオプラ等指定袋を既に導入している	3,311 5.9%	2,617 6.2%	36 3.1%	203 7.2%	13 0.2%	3 1.2%	438 11.9%
導入予定しており、時期が決まっている	438 0.8%	377 0.9%	7 0.6%	45 1.6%	3 0.0%	0 0.1%	7 0.2%
時期は未定だが、導入を検討している	3,337 6.0%	3,247 7.7%	1 0.1%	47 1.7%	19 0.3%	0 0.0%	24 0.7%
導入に向けた検討はしていない	48,640 87.3%	36,113 85.3%	1,111 96.2%	2,513 89.5%	5,428 99.4%	270 98.7%	3,205 87.2%

※なお導入予定・検討中の市区町村の重量は、現時点での各分別区分の販売量に基づいたため、新たに分別区分を設ける等の場合は想定に含まれない。

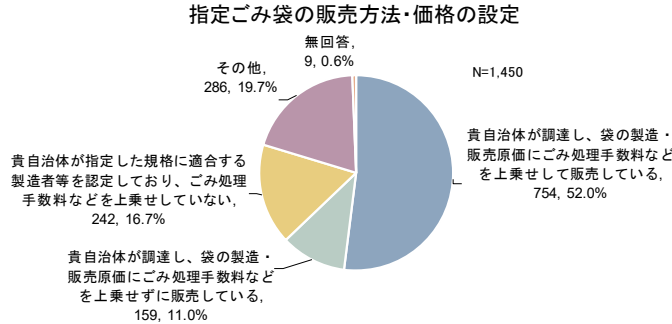
重量換算推計における重量の仮定(g/枚)

5L以下	5L～10L以下	10L～15L以下	15L～20L以下	20L～25L以下	25L～30L以下	30L～35L以下	35L～40L以下	40L～45L以下	45L～50L以下	50L～60L以下	60L～70L以下	70L～80L以下	80L～90L以下	90L～
2.5	5.0	7.5	10.0	12.5	15.0	17.5	20.0	22.5	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0

※一般的なごみ袋製品の重量を基に仮定。

指定ごみ袋の販売方法・価格の設定

- 指定ごみ袋を導入(または検討)している市区町村に対し、販売方法・価格の設定について伺った。
 - ・「貴自治体が調達し、袋の製造・販売原価にごみ処理手数料などを上乗せして販売している」が52.0%、「貴自治体が調達し、袋の製造・販売原価にごみ処理手数料などを上乗せずに販売している」が11.0%、「貴自治体が指定した規格に適合する製造者等を認定しており、ごみ処理手数料などを上乗せていない」が16.7%であった。



☆その他の内容	件数	割合
ごみ処理手数料などのみの金額で販売している	45	3.1%
貴自治体が指定した規格に適合する製造者等を認定しており、ごみ処理手数料などを上乗せている	19	1.3%
一部事務組合等が調達し、ごみ処理手数料などを上乗せて販売している	63	4.3%
一部事務組合等が調達し、ごみ処理手数料などを上乗せずに販売している	24	1.7%
一部事務組合等が調達し、ごみ処理手数料などのみの金額で販売している	7	0.5%
一部事務組合等が製造事業者を認定しており、ごみ処理手数料などを上乗せていない	8	0.6%
一部事務組合等が製造事業者を認定しており、ごみ処理手数料などを上乗せている	9	0.6%
合計	286	19.7%

指定ごみ袋の調達価格・販売価格

- 指定ごみ袋を導入(または検討)している市区町村に対し、指定ごみ袋の調達価格・販売価格を伺った。
 - ・家庭系可燃ごみでは、容量に応じておよそ5.6~20.1円/枚で調達され、およそ10.9~57.5円/枚で販売されていた。

指定ごみ袋の平均調達価格・平均販売価格

回答自治体数	家庭系可燃ごみ		家庭系生ごみ		家庭系容器包装プラスチック		事業系可燃ごみ		事業系不燃ごみ		その他の分別区分	
	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)
	1,056件		177件		375件		279件		171件		286件	
5L以下	5.6	10.9	10.2	15.5	5.3	9.6	6.7	12.5	5.8	10.6	6.3	11.1
5L~10L以下	6.1	16.7	13.1	26.6	8.4	11.2	10.6	30.1	12.5	28.4	7.5	15.5
10L~15L以下	6.1	18.6	14.3	35.5	7.6	13.2	7.4	35.0	9.2	28.3	9.4	17.3
15L~20L以下	7.3	25.7	14.1	34.2	9.8	15.0	9.9	35.3	12.5	33.7	8.4	22.1
20L~25L以下	7.3	25.2	9.0	22.9	7.7	19.2	11.8	43.4	18.1	44.1	10.2	24.8
25L~30L以下	8.4	30.7	13.0	33.2	9.2	19.6	10.5	43.8	11.8	38.4	9.1	26.5
30L~35L以下	7.8	33.3	27.0	41.6	12.0	26.0	8.5	46.0	10.6	46.6	10.8	28.7
35L~40L以下	11.7	55.2	8.2	53.7	20.1	19.8	13.8	55.3	18.6	65.0	15.0	45.8
40L~45L以下	11.0	35.3	14.7	34.4	17.3	24.0	13.0	47.0	15.6	48.0	12.8	32.8
45L~50L以下	12.3	45.5	10.9	38.0	16.5	23.4	12.2	61.9	18.2	72.1	17.4	42.0
50L~60L以下	12.7	36.8	14.1	16.0	20.0	24.4	13.3	57.8	22.2	51.7	12.9	49.0
60L~70L以下	17.7	37.4	29.1	51.4	45.6	21.3	17.3	53.2	20.1	32.9	7.7	41.3
70L~80L以下	15.5	44.5	14.2	52.0	24.2	78.2	27.4	67.0	-	-	-	-
80L~90L以下	20.1	57.5	-	-	16.0	20.0	23.0	49.3	26.7	30.4	19.9	34.0
90L~	-	-	-	-	-	-	18.8	93.5	32.0	-	-	-

※0円より大きい金額が記入された回答を集計。1枚あたり100円を超える回答は集計に含めていない。

バイオプラスチック等指定ごみ袋の調達価格・販売価格

- 指定ごみ袋の調達価格・販売価格のうち、バイオプラスチック等指定ごみ袋に該当する回答を集計した。
 - ・ サンプル数に応じて状況は異なるが、いずれの分別区分でも平均調達価格(前頁)より高額となる傾向が見られた。

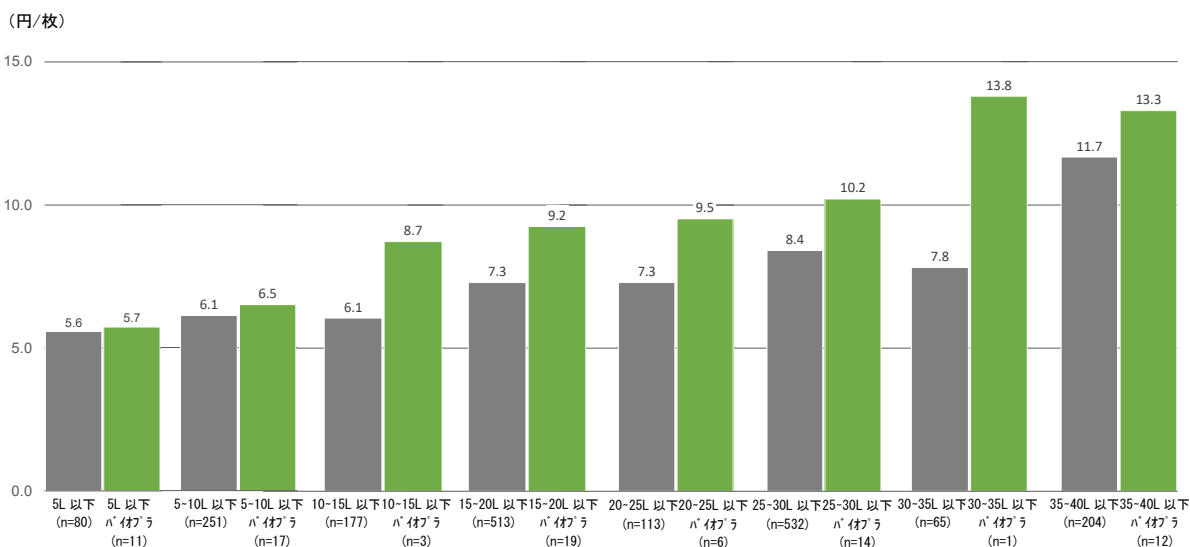
バイオプラスチック等指定ごみ袋の平均調達価格・平均販売価格

回答自治体数	家庭系可燃ごみ		家庭系生ごみ		家庭系容器包装プラスチック		事業系可燃ごみ		事業系不燃ごみ		その他の分別区分	
	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)	調達価格 (円/枚)	販売価格 (円/枚)
	36件		35件		8件		9件		9件		9件	
5L以下	5.7	8.9	18.0	19.3	7.1	5.0	8.0	15.0	-	-	-	-
5L~10L以下	6.5	18.2	23.5	27.7	7.8	10.0	9.9	30.0	10.7	35.0	6.1	16.0
10L~15L以下	8.7	18.3	25.9	41.5	-	-	9.5	45.0	-	-	-	-
15L~20L以下	9.2	36.7	38.7	51.3	10.6	20.5	14.7	52.0	15.0	52.0	11.9	29.0
20L~25L以下	9.5	30.6	-	-	2.8	12.0	11.2	-	13.1	-	3.5	12.0
25L~30L以下	10.2	46.3	60.2	60.0	9.4	37.5	14.3	90.0	41.8	59.0	6.7	30.0
30L~35L以下	13.8	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35L~40L以下	13.3	75.1	-	-	13.8	50.0	17.5	88.0	17.5	88.0	18.4	82.7
40L~45L以下	13.3	45.0	72.5	-	17.2	36.1	17.3	85.0	18.5	60.3	12.5	25.5
45L~50L以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50L~60L以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60L~70L以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70L~80L以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80L~90L以下	-	-	-	-	-	-	34.7	-	34.7	-	-	-
90L~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※指定ごみ袋へのバイオプラスチック等の導入状況で「既に導入している」と回答し、導入している分別区分に該当している場合をクロス集計。
 ※0円より大きい金額が記入された回答を集計。1枚あたり100円を超える回答は集計に含めていない。

バイオプラスチック等指定ごみ袋の調達価格・販売価格

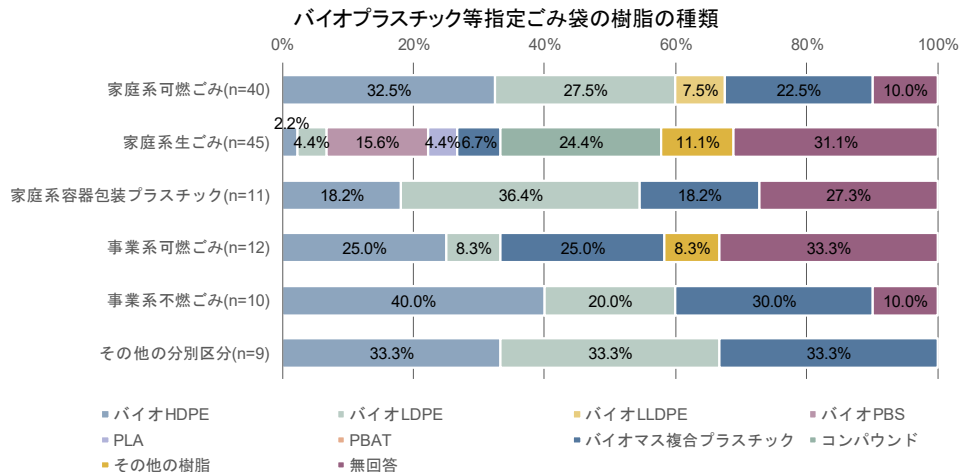
- 家庭系可燃ごみ指定ごみ袋について、全体の平均調達価格、バイオプラスチック等指定ごみ袋の平均調達価格を比較した。
 - ・ 多く用いられている15~20L以下の指定袋では25%程度(7.3円、9.2円)、25~30L以下の指定袋では20%程度(8.4円、10.2円)高い平均価格となった。



4. 製品の概要・調達方式

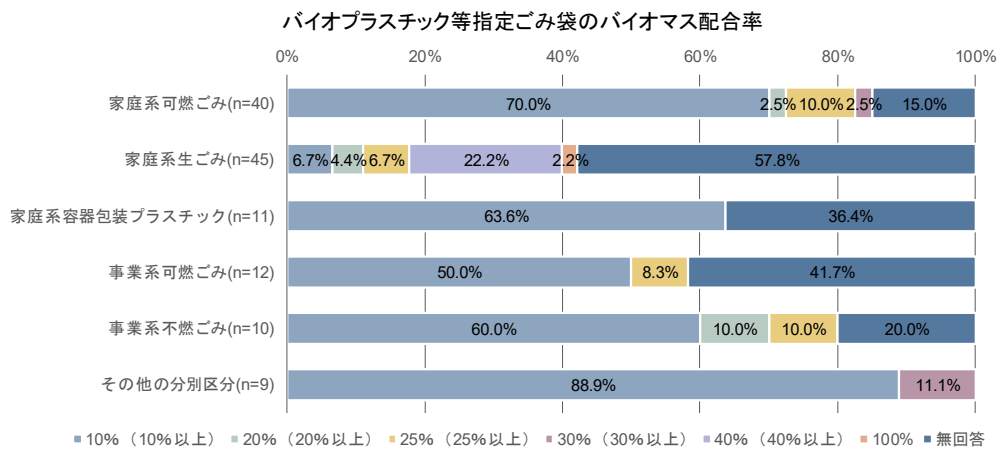
バイオプラスチック等指定袋の樹脂の種類

- バイオプラスチック等指定袋を導入している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定ごみ袋の樹脂の種類について伺った。
 - 家庭系可燃ごみでは「バイオHDPE」が32.5%、「バイオLDPE」が27.5%、「バイオマス複合プラスチック」が22.5%であった。
 - 家庭系生ごみでは「コンパウンド」が24.4%、「バイオPBS」が15.6%、「バイオLLDPE」が11.1%であった。
 - 家庭系容器包装プラスチックでは「バイオLDPE」が36.4%であった。
 - 事業系可燃ごみでは「バイオHDPE」と「バイオマス複合プラスチック」がいずれも25.0%であった。
 - 事業系不燃ごみでは「バイオHDPE」が40%、「バイオマス複合プラスチック」が30.0%であった。



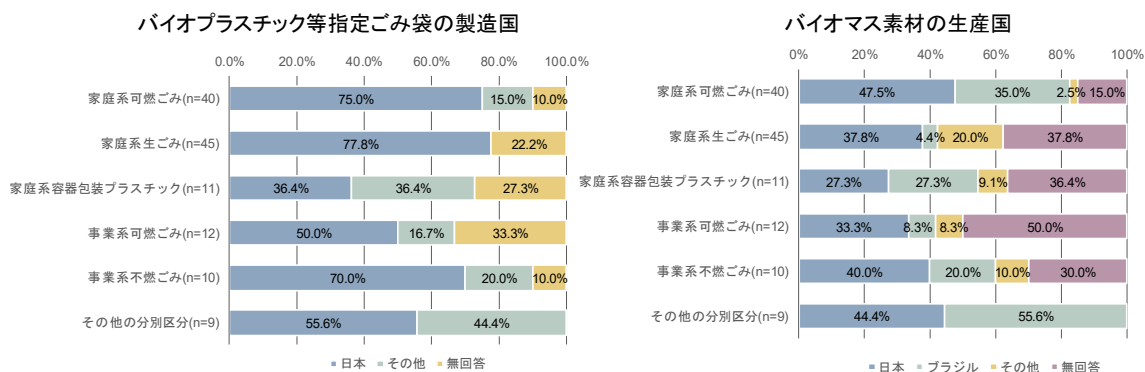
バイオプラスチック等指定袋のバイオマス配合率 (バイオマスプラスチック・バイオマス複合プラスチックの場合)

- バイオプラスチック製、バイオマス複合プラスチック製指定袋を導入している市区町村に対し、そのバイオマス配合率について伺った。
 - 家庭系可燃ごみでは「10% (10%以上)」が70.0%、「25% (25%以上)」が10.0%であった。
 - 家庭系生ごみでは「40% (40%以上)」が22.2%であった。
 - 家庭系容器包装プラスチックでは「10% (10%以上)」が63.6%であった。
 - 事業系可燃ごみでは「10% (10%以上)」が50.0%、「25% (25%以上)」が8.3%であった。
 - 事業系不燃ごみでは「10% (10%以上)」が60.0%、「20% (20%以上)」が10.0%、「25% (25%以上)」が10.0%であった。



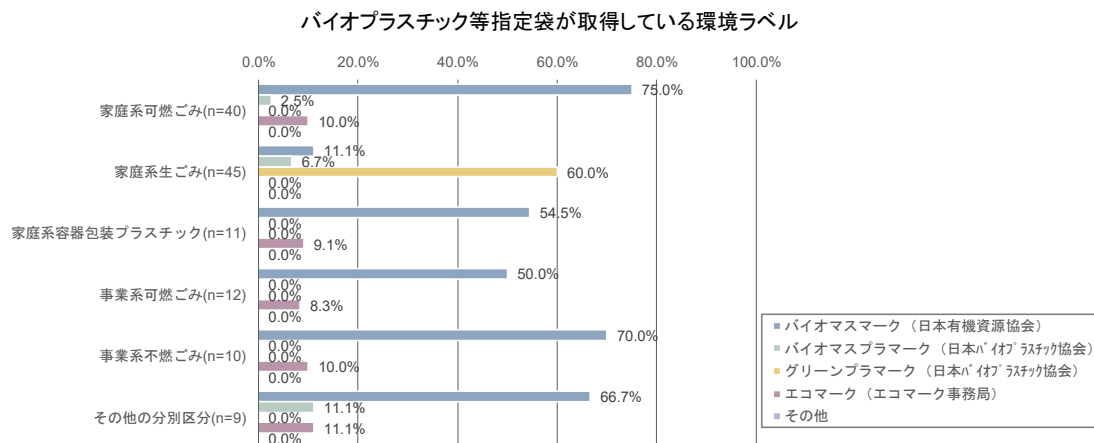
バイオプラスチック等指定袋の製造国・素材の生産国

- バイオプラスチック等指定袋を導入している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋の製造国・素材の生産国について伺った。
- ・ バイオプラスチック等指定袋の製造国について、すべての分別区分で「日本」が多かった。「その他」の内容としては中国、ベトナム等が挙げられていた。
- ・ バイオマス素材の生産国について、すべての分別区分で「日本」が多かった。「その他」の内容としては不明が多く、家庭系生ごみ袋では、タイ、ドイツ、アメリカ等が挙げられていた。



バイオプラスチック等指定袋が取得している環境ラベル

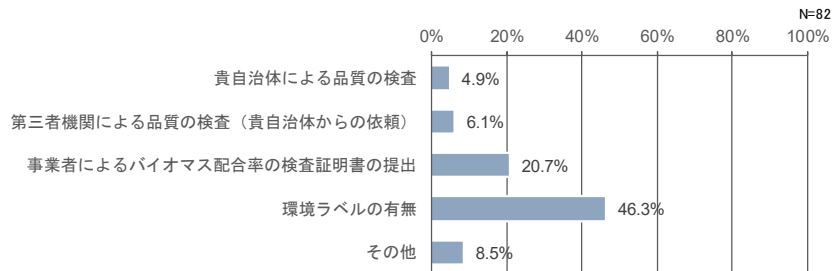
- バイオプラスチック等指定袋を導入している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋が取得している環境ラベルについて伺った。
- ・ 多くの分別区分で「バイオマスマーク（日本有機資源協会）」を取得しており、家庭系可燃ごみでは75.0%、家庭系容器包装プラスチックでは54.5%、事業系可燃ごみでは50.0%、事業系不燃ごみでは70.0%であった。
- ・ 家庭系生ごみでは「グリーンブラマーク（日本バイオプラスチック協会）」が最も多く60.0%であった。



バイオプラスチック等の含有に関する確認手法

- バイオプラスチック等指定袋を導入している市区町村に対し、バイオプラスチック等の含有に関する確認手法について伺った。
 - ・「環境ラベルの有無」が46.3%、「事業者によるバイオマス配合率の検査証明書の提出」が20.7%、「第三者機関による品質の検査（貴自治体からの依頼）」が6.1%、「貴自治体による品質の検査」が4.9%であった。

バイオプラスチック等の含有に関する確認手法



バイオプラスチック等指定袋 調達仕様の設定

- バイオプラスチック等指定袋を導入（または検討）している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋の調達仕様（または認定の規格）に含めている項目とその内容を伺った。
 - ・「形状」について、いずれの分別区分においても多くの市区町村が仕様の項目に含めており、その内容は「U形袋」が最も多かった（家庭系可燃ごみを例とすると、80.0%の市区町村が仕様項目に含め、うち68.0%がU形袋としていた）。
 - ・「色」について、いずれの分別区分においても多くの市区町村が仕様の項目に含めており、その内容は分別区分に応じて異なっていた（家庭系生ごみ、容器包装プラスチックでは無色の場合が多く、その他の分別区分では色が設定されるケースが多かった）。
 - ・「容量」について、いずれの分別区分においても多くの市区町村が仕様の項目に含めていた（家庭系可燃ごみを例とすると、74.0%の市区町村が仕様項目に含めていた）。

調達仕様（または認定の規格）に含めている割合（白字）、その具体的内容の内訳（黒字）

	家庭系可燃ごみ	家庭系生ごみ	家庭系容器包装プラスチック	事業系可燃ごみ	事業系不燃ごみ	その他の分別区分
全体	100件(100%)	58件(100%)	21件(100%)	24件(100%)	16件(100%)	25件(100%)
①形状	80.0%	84.5%	100.0%	79.2%	93.8%	84.0%
平袋	5.0%	6.9%	9.5%	8.3%	6.3%	8.0%
U形袋	68.0%	72.4%	76.2%	54.2%	68.8%	64.0%
その他	6.0%	8.6%	14.3%	16.7%	18.8%	8.0%
②色	76.0%	82.8%	95.2%	66.7%	81.3%	80.0%
無色	15.0%	55.2%	42.9%	8.3%	18.8%	20.0%
白色	10.0%	6.9%	4.8%	0.0%	6.3%	4.0%
黄色	27.0%	10.3%	4.8%	16.7%	12.5%	4.0%
緑色	2.0%	3.4%	4.8%	12.5%	25.0%	4.0%
その他	23.0%	8.6%	38.1%	29.2%	18.8%	48.0%
③容量	74.0%	79.3%	100.0%	62.5%	75.0%	80.0%

バイオプラスチック等指定袋 調達仕様の設定

- バイオプラスチック等指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋の調達仕様(または認定の規格)に含めている項目とその内容を伺った。
 - ・「材質」について、いずれの分別区分においても多くの市区町村が仕様の項目に含めており、その内容は分別区分に応じて異なっていた(家庭系可燃ごみ、容器包装プラスチック、事業系可燃ごみではバイオマス複合プラスチックが多く、事業系不燃ごみ、その他の分別区分ではバイオLDPEが多かった)。

調達仕様(または認定の規格)に含めている割合(白字)、その具体的内容の内訳(黒字)

	家庭系可燃ごみ	家庭系生ごみ	家庭系容器包装プラスチック	事業系可燃ごみ	事業系不燃ごみ	その他の分別区分
全体	100件(100%)	58件(100%)	21件(100%)	24件(100%)	16件(100%)	25件(100%)
④材料	72.0%	81.0%	95.2%	70.8%	87.5%	68.0%
HDPE	12.0%	3.4%	14.3%	12.5%	18.8%	12.0%
バイオHDPE	10.0%	3.4%	4.8%	12.5%	12.5%	8.0%
LDPE	8.0%	1.7%	19.0%	4.2%	6.3%	0.0%
バイオLDPE	6.0%	6.9%	9.5%	12.5%	31.3%	20.0%
LLDPE	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
バイオLLDPE	3.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
PE(ポリエチレンの種類は指定してない)	3.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
バイオPE(ポリエチレンの種類は指定してない)	4.0%	1.7%	14.3%	4.2%	0.0%	16.0%
PBS	0.0%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
PLA	1.0%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
PBAT	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
バイオマス複合プラスチック	16.0%	6.9%	19.0%	16.7%	18.8%	8.0%
コンパウンド	2.0%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	2.0%	19.0%	4.8%	4.2%	0.0%	4.0%

バイオプラスチック等指定袋 調達仕様の設定

- バイオプラスチック等指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋の調達仕様(または認定の規格)に含めている項目とその内容を伺った。
 - ・「フィラー(充填剤)の有無等」について、いずれの分別区分においても仕様の項目に含めている市区町村は多くなかった。
 - ・「厚さ」について、いずれの分別区分においても半数以上が仕様の項目に含めており、その内容は「0.03mm以上0.04mm未満」が最も多かった。
 - ・「引張強度」について、いずれの分別区分においても半数前後が仕様の項目に含めており、家庭系容器包装プラスチックでは71.4%が含めている。内容は「25MPa以上30MPa未満」が最も多かった。

調達仕様(または認定の規格)に含めている割合(白字)、その具体的内容の内訳(黒字)

	家庭系可燃ごみ	家庭系生ごみ	家庭系容器包装プラスチック	事業系可燃ごみ	事業系不燃ごみ	その他の分別区分
全体	100件(100%)	58件(100%)	21件(100%)	24件(100%)	16件(100%)	25件(100%)
⑤炭酸カルシウム等のフィラー(充填剤)の有無等	14.0%	15.5%	14.3%	25.0%	25.0%	20.0%
⑥厚さ	50.0%	67.2%	76.2%	58.3%	68.8%	56.0%
0.02mm未満	1.0%	5.2%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
0.02mm以上0.03mm未満	12.0%	24.1%	19.0%	8.3%	6.3%	16.0%
0.03mm以上0.04mm未満	33.0%	32.8%	42.9%	41.7%	43.8%	28.0%
0.04mm以上	3.0%	3.4%	9.5%	8.3%	18.8%	8.0%
⑦引張強度	45.0%	39.7%	71.4%	58.3%	68.8%	60.0%
15MPa未満	2.0%	1.7%	9.5%	8.3%	6.3%	4.0%
15MPa以上20MPa未満	13.0%	5.2%	14.3%	12.5%	18.8%	4.0%
20MPa以上25MPa未満	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
25MPa以上30MPa未満	12.0%	15.5%	14.3%	33.3%	43.8%	24.0%
30MPa以上35MPa未満	6.0%	6.9%	9.5%	0.0%	0.0%	8.0%
35MPa以上40MPa未満	3.0%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	8.0%
40MPa以上	8.0%	8.6%	4.8%	4.2%	0.0%	8.0%
その他	1.0%	3.4%	4.8%	0.0%	0.0%	4.0%

バイオプラスチック等指定袋 調達仕様の設定

■ バイオプラスチック等指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋の調達仕様(または認定の規格)に含めている項目とその内容を伺った。

- ・「伸び」について、いずれの分別区分においても仕様の項目に含めているのは半数以下で、その内容は「100%以上200%未満」「200%以上300%未満」が多かった。
- ・「印刷はく離強さ」について、いずれの分別区分においても仕様の項目に含めている市区町村は多くはなかった。最も多かった分別区分は「事業系不燃ごみ」で31.3%、次いで「家庭系生ごみ」27.6%であった。
- ・「ヒートシール強さ」について、いずれの分別区分においても半数前後が仕様の項目に含めており、最も多かった分別区分は「家庭系容器包装プラスチック」で52.4%、次いで「事業系可燃ごみ」45.8%であった。

調達仕様(または認定の規格)に含めている割合(白字)、その具体的内容の内訳(黒字)

	家庭系可燃ごみ	家庭系生ごみ	家庭系容器包装プラスチック	事業系可燃ごみ	事業系不燃ごみ	その他の分別区分
全体	100件(100%)	58件(100%)	21件(100%)	24件(100%)	16件(100%)	25件(100%)
⑧伸び	30.0%	34.5%	42.9%	45.8%	50.0%	44.0%
100%未満	1.0%	1.7%	4.8%	4.2%	6.3%	4.0%
100%以上200%未満	6.0%	10.3%	19.0%	25.0%	31.3%	16.0%
200%以上300%未満	12.0%	19.0%	9.5%	16.7%	12.5%	8.0%
300%以上400%未満	6.0%	3.4%	9.5%	0.0%	0.0%	12.0%
400%以上500%未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
500%以上600%未満	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
600%以上	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨印刷はく離強さ	17.0%	27.6%	9.5%	20.8%	31.3%	8.0%
⑩ヒートシール強さ	31.0%	34.5%	52.4%	45.8%	43.8%	44.0%

バイオプラスチック等指定袋 調達仕様の設定

■ バイオプラスチック等指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋の調達仕様(または認定の規格)に含めている項目とその内容を伺った。

- ・「バイオマス配合率」について、いずれの分別区分においても半数前後が仕様の項目に含めており、その内容は「10%以上」が最も多かった。
- ・「その他」として挙げられていた仕様項目は、引裂強度、印字文字色、水漏れ等であった。

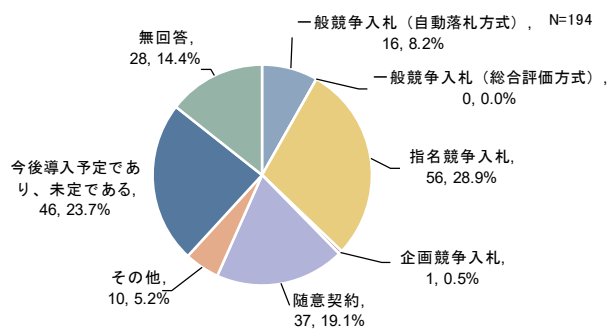
調達仕様(または認定の規格)に含めている割合(白字)、その具体的内容の内訳(黒字)

	家庭系可燃ごみ	家庭系生ごみ	家庭系容器包装プラスチック	事業系可燃ごみ	事業系不燃ごみ	その他の分別区分
全体	100件(100%)	58件(100%)	21件(100%)	24件(100%)	16件(100%)	25件(100%)
⑪バイオマス配合率	43.0%	31.0%	52.4%	54.2%	68.8%	60.0%
10%以上	28.0%	8.6%	33.3%	41.7%	56.3%	36.0%
20%以上	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
25%以上	11.0%	3.4%	14.3%	12.5%	6.3%	16.0%
30%以上	2.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.0%
40%以上	1.0%	15.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑫その他	17.0%	20.7%	28.6%	16.7%	12.5%	28.0%

バイオプラスチック等指定袋 入札・契約方式

- バイオプラスチック等指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定袋の入札・契約方式について伺った。
- 「指名競争入札」が28.9%、「今後導入予定であり、未定である」が23.7%、「随意契約」が19.1%、「一般競争入札(自動落札方式)」が8.2%であった。

バイオプラスチック等指定袋の入札・契約方式

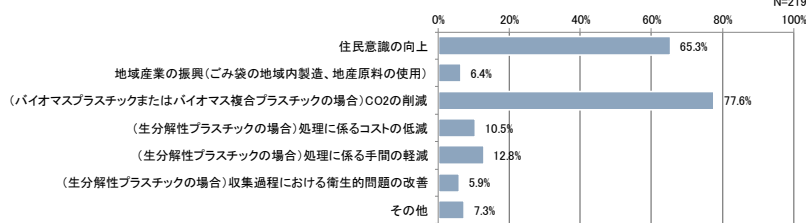


5. 導入の目的・経緯

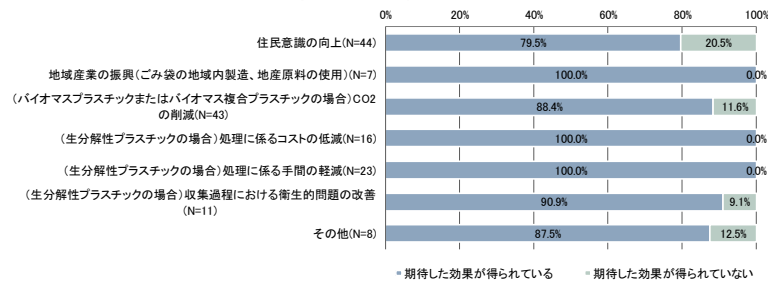
バイオプラスチック等指定ごみ袋導入の政策上の目的・効果

- バイオプラスチック等指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、バイオプラスチック等指定ごみ袋導入の政策上の目的を伺った。既に導入している市区町村には、導入後の効果の有無を伺った。
 - 政策上の目的は「CO2の削減」が77.6%、「住民意識の向上」が65.3%であった。既に導入している市区町村について、「CO2の削減」は88.4%、「住民意識の向上」は79.5%が「期待した効果が得られている」と回答した。

バイオプラスチック等指定ごみ袋導入の政策上の目的



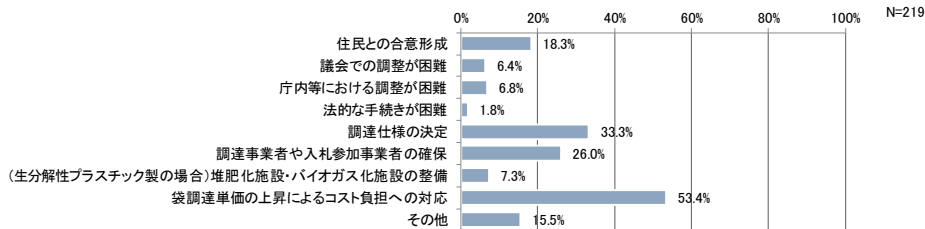
導入後の効果の有無



6. 導入に向けた課題・導入に向けて必要な情報

バイオプラスチック等を導入するまでの課題(導入済み・検討中の自治体)

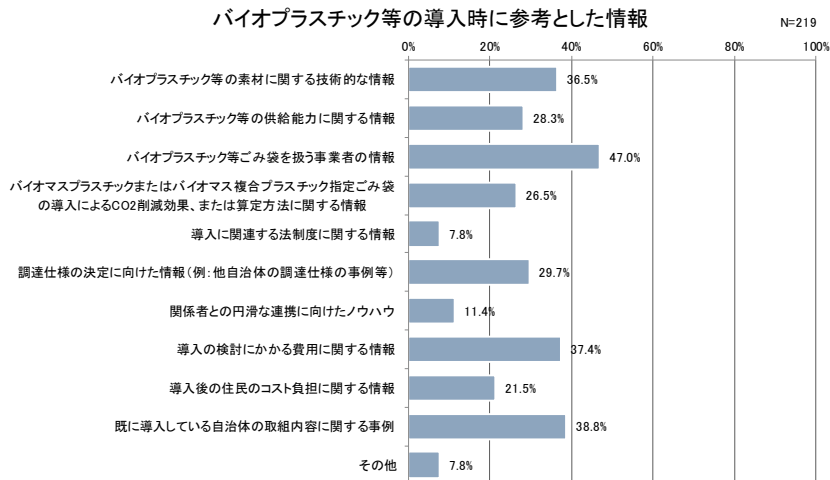
- バイオプラスチック等指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、導入するまでの課題を伺った。
 - ・「袋調達単価の上昇によるコスト負担への対応」が53.4%、「調達仕様の決定」が33.3%、「調達事業者や入札参加事業者の確保」が26.0%、「住民との合意形成」が18.3%の順に多かった。



★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	15 100.0%	39 100.0%	32 100.0%	133 100.0%	219 100.0%
1. 住民との合意形成	4 26.7%	9 23.1%	2 6.3%	25 18.8%	40 18.3%
2. 議会での調整が困難	2 13.3%	3 7.7%	3 9.4%	6 4.5%	14 6.4%
3. 庁内等における調整が困難	1 6.7%	2 5.1%	4 12.5%	8 6.0%	15 6.8%
4. 法的な手続きが困難	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.3%	4 1.8%
5. 調達仕様の決定	7 46.7%	11 28.2%	12 37.5%	43 32.3%	73 33.3%
6. 調達事業者や入札参加事業者の確保	6 40.0%	12 30.8%	9 28.1%	30 22.6%	57 26.0%
7. (生分解性プラスチック製の場合)堆肥化施設・バイオガス化施設の整備	1 6.7%	0 0.0%	2 6.3%	13 9.8%	16 7.3%
8. 袋調達単価の上昇によるコスト負担への対応	11 73.3%	23 59.0%	20 62.5%	63 47.4%	117 53.4%
9. その他	3 20.0%	6 15.4%	4 12.5%	21 15.8%	34 15.5%

バイオプラスチック等の導入時に参考とした情報(導入済み・検討中の自治体)

- バイオプラスチック等指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、バイオプラスチック等の導入時に参考とした情報について伺った。
 - ・「バイオプラスチック等ごみ袋を扱う事業者の情報」が47.0%、「既に導入している自治体の取組内容に関する事例」が38.8%、「導入の検討にかかる費用に関する情報」が37.4%、「バイオプラスチック等の素材に関する技術的な情報」が36.5%、「調達仕様の決定に向けた情報(例:他自治体の調達仕様の事例等)」が29.7%、「バイオプラスチック等の供給能力に関する情報」が28.3%、「バイオマスプラスチックまたはバイオマス複合プラスチック指定ごみ袋の導入によるCO2削減効果、または算定方法に関する情報」が26.5%、「導入に関する法制度に関する情報」が7.8%、「関係者との円滑な連携に向けたノウハウ」が11.4%、「導入後の住民のコスト負担に関する情報」が21.5%、「既に導入している自治体の取組内容に関する事例」が38.8%の順に多かった。



バイオプラスチック等の導入時に参考とした情報(導入済み・検討中の自治体)

■ バイオプラスチック等の導入時に参考とした情報について、人口規模別の状況は以下のとおりである。

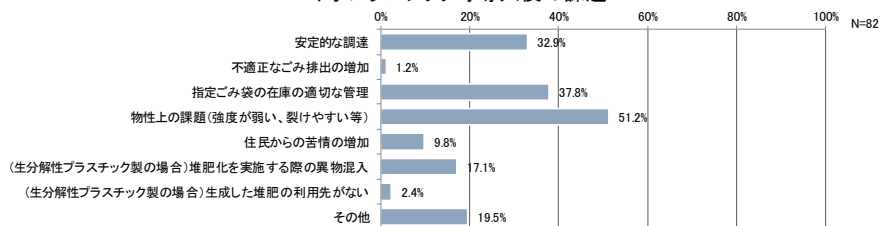
★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	15	39	32	133	219
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1. バイオプラスチック等の素材に関する技術的な情報	7	18	14	41	80
	46.7%	46.2%	43.8%	30.8%	36.5%
2. バイオプラスチック等の供給能力に関する情報	8	22	11	21	62
	53.3%	56.4%	34.4%	15.8%	28.3%
3. バイオプラスチック等ごみ袋を扱う事業者の情報	6	26	15	56	103
	40.0%	66.7%	46.9%	42.1%	47.0%
4. バイオマスプラスチックまたはバイオマス複合プラスチック指定ごみ袋の導入によるCO2削減効果、または算定方法に関する情報	6	18	13	21	58
	40.0%	46.2%	40.6%	15.8%	26.5%
5. 導入に関連する法制度に関する情報	4	4	3	6	17
	26.7%	10.3%	9.4%	4.5%	7.8%
6. 調達仕様の決定に向けた情報(例:他自治体の調達仕様の事例等)	6	15	11	33	65
	40.0%	38.5%	34.4%	24.8%	29.7%
7. 関係者との円滑な連携に向けたノウハウ	2	4	4	15	25
	13.3%	10.3%	12.5%	11.3%	11.4%
8. 導入の検討にかかる費用に関する情報	7	19	13	43	82
	46.7%	48.7%	40.6%	32.3%	37.4%
9. 導入後の住民のコスト負担に関する情報	3	13	7	24	47
	20.0%	33.3%	21.9%	18.0%	21.5%
10. 既に導入している自治体の取組内容に関する事例	8	22	16	39	85
	53.3%	56.4%	50.0%	29.3%	38.8%
11. その他	0	5	1	11	17
	0.0%	12.8%	3.1%	8.3%	7.8%

バイオプラスチック等導入後の課題(導入済みの自治体)

■ バイオプラスチック等指定袋を導入している市区町村に対し、バイオプラスチック等導入後の課題について伺った。

- ・「物性上の課題(強度が弱い、裂けやすい等)」が51.2%、「指定ごみ袋の在庫の適切な管理」が37.8%、「安定的な調達」32.9%の順に多かった。

バイオプラスチック等導入後の課題

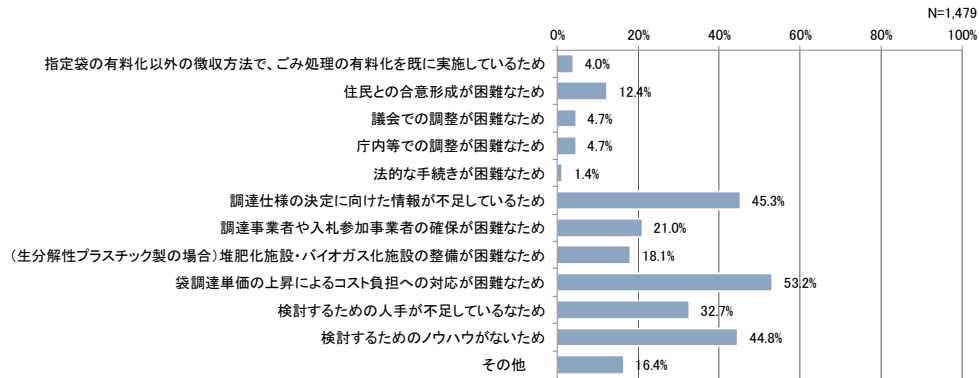


★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	4	8	8	62	82
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1. 安定的な調達	3	2	2	20	27
	75.0%	25.0%	25.0%	32.3%	32.9%
2. 不適正なごみ排出の増加	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.2%
3. 指定ごみ袋の在庫の適切な管理	1	4	1	25	31
	25.0%	50.0%	12.5%	40.3%	37.8%
4. 物性上の課題(強度が弱い、裂けやすい等)	2	3	1	36	42
	50.0%	37.5%	12.5%	58.1%	51.2%
5. 住民からの苦情の増加	0	0	1	7	8
	0.0%	0.0%	12.5%	11.3%	9.8%
6. (生分解性プラスチック製の場合)堆肥化を実施する際の異物混入	0	0	0	14	14
	0.0%	0.0%	0.0%	22.6%	17.1%
7. (生分解性プラスチック製の場合)生成した堆肥の利用先がない	0	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	2.4%
8. その他	1	1	1	13	16
	25.0%	12.5%	12.5%	21.0%	19.5%

バイオプラスチック等導入を検討していない理由(検討していない自治体)

- バイオプラスチック等指定袋の導入を検討していない市区町村に対し、検討していない理由を伺った。
 - ・「袋調達単価の上昇によるコスト負担への対応が困難なため」が53.2%、「調達仕様の決定に向けた情報が不足しているため」が45.3%、「検討するためのノウハウがないため」が44.8%、「検討するための人手が不足しているため」32.7%の順に多かった。

バイオプラスチック等の導入を検討していない理由



バイオプラスチック等導入を検討していない理由(検討していない自治体)

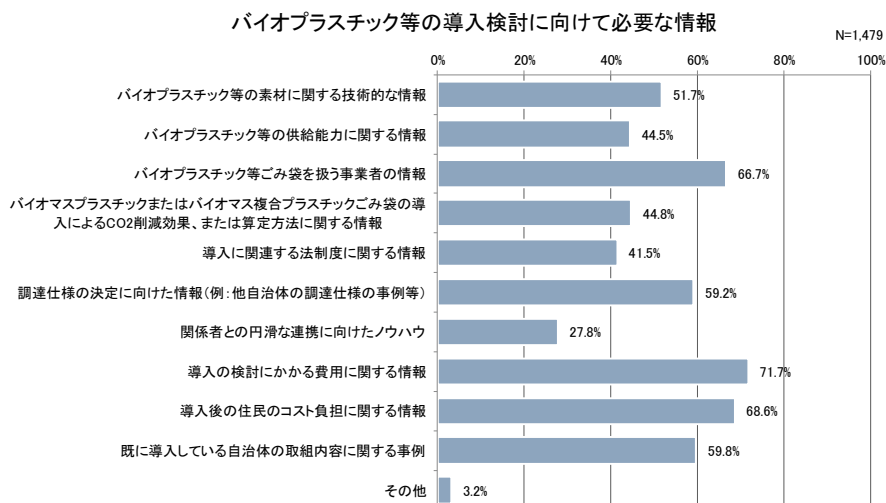
- バイオプラスチック等を検討していない理由について、人口規模別にみた結果は以下のとおりである。

★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	20	211	222	1,026	1,479
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1. 指定袋の有料化以外の徴収方法で、ごみ処理の有料化を既に実施しているため	1	6	6	46	59
	5.0%	2.8%	2.7%	4.5%	4.0%
2. 住民との合意形成が困難なため	4	37	30	112	183
	20.0%	17.5%	13.5%	10.9%	12.4%
3. 議会での調整が困難なため	1	15	5	48	69
	5.0%	7.1%	2.3%	4.7%	4.7%
4. 庁内等での調整が困難なため	2	8	10	49	69
	10.0%	3.8%	4.5%	4.8%	4.7%
5. 法的な手続きが困難なため	0	1	3	16	20
	0.0%	0.5%	1.4%	1.6%	1.4%
6. 調達仕様の決定に向けた情報が不足しているため	7	88	108	467	670
	35.0%	41.7%	48.6%	45.5%	45.3%
7. 調達事業者や入札参加事業者の確保が困難なため	3	37	54	217	311
	15.0%	17.5%	24.3%	21.2%	21.0%
8. (生分解性プラスチック製の場合)堆肥化施設・バイオガス化施設の整備が困難なため	2	40	41	185	268
	10.0%	19.0%	18.5%	18.0%	18.1%
9. 袋調達単価の上昇によるコスト負担への対応が困難なため	6	111	132	538	787
	30.0%	52.6%	59.5%	52.4%	53.2%
10. 検討するための人手が不足しているため	1	47	53	382	483
	5.0%	22.3%	23.9%	37.2%	32.7%
11. 検討するためのノウハウがないため	3	73	87	499	662
	15.0%	34.6%	39.2%	48.6%	44.8%
12. その他	5	55	39	144	243
	25.0%	26.1%	17.6%	14.0%	16.4%

バイオプラスチック等の導入検討に向けて必要な情報(検討していない自治体)

■ バイオプラスチック等指定袋の導入を検討していない市区町村に対し、導入検討に向けて必要な情報について伺った。

- 「導入の検討にかかる費用に関する情報」が71.7%、「導入後の住民のコスト負担に関する情報」が68.6%、「バイオプラスチック等ごみ袋を扱う事業者の情報」が66.7%、「既に導入している自治体の取組内容に関する事例」が59.8%、「調達仕様の決定に向けた情報」が59.2%、「バイオプラスチック等の素材に関する技術的な情報」51.7%の順に多かった。



バイオプラスチック等の導入検討に向けて必要な情報(検討していない自治体)

■ バイオプラスチック等の導入検討に向けて必要な情報を、人口規模別にみた結果は以下のとおりである。

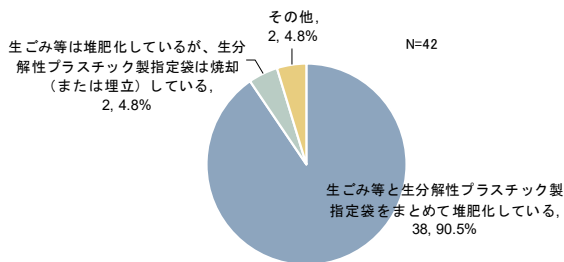
★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	20 100.0%	211 100.0%	222 100.0%	1,026 100.0%	1,479 100.0%
1. バイオプラスチック等の素材に関する技術的な情報	12 60.0%	116 55.0%	118 53.2%	519 50.6%	765 51.7%
2. バイオプラスチック等の供給能力に関する情報	9 45.0%	107 50.7%	115 51.8%	427 41.6%	658 44.5%
3. バイオプラスチック等ごみ袋を扱う事業者の情報	14 70.0%	143 67.8%	147 66.2%	682 66.5%	986 66.7%
4. バイオマスプラスチックまたはバイオマス複合プラスチック指定ごみ袋の導入によるCO2削減効果、または算定方法に関する情報	12 60.0%	127 60.2%	114 51.4%	409 39.9%	662 44.8%
5. 導入に関連する法制度に関する情報	10 50.0%	104 49.3%	96 43.2%	404 39.4%	614 41.5%
6. 調達仕様の決定に向けた情報(例:他自治体の調達仕様の事例等)	13 65.0%	136 64.5%	146 65.8%	580 56.5%	875 59.2%
7. 関係者との円滑な連携に向けたノウハウ	10 50.0%	66 31.3%	65 29.3%	270 26.3%	411 27.8%
8. 導入の検討にかかる費用に関する情報	13 65.0%	160 75.8%	160 72.1%	728 71.0%	1,061 71.7%
9. 導入後の住民のコスト負担に関する情報	12 60.0%	143 67.8%	166 74.8%	694 67.6%	1,015 68.6%
10. 既に導入している自治体の取組内容に関する事例	13 65.0%	146 69.2%	143 64.4%	582 56.7%	884 59.8%
11. その他	3 15.0%	6 2.8%	3 1.4%	36 3.5%	48 3.2%

7. 生分解性プラスチック製指定袋の処理

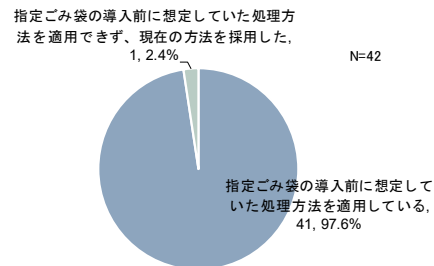
生分解性プラスチック製指定袋の処理方法

- 生分解性プラスチック製指定袋を導入（または検討）している市区町村に対し、生分解性プラスチック製指定袋の処理方法について伺った。
 - 処理方法については、「生ゴミ等と生分解性プラスチック製指定袋をまとめて堆肥化している」が90.5%、「生ゴミ等は堆肥化しているが、生分解性プラスチック製指定袋は焼却（または埋立）している」が4.8%であった。

生分解性プラスチック製指定袋の処理方法



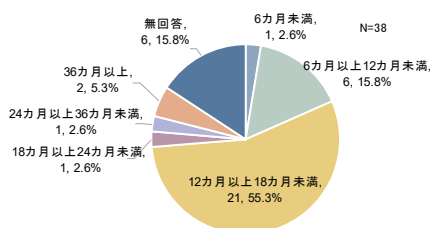
生分解性プラスチック製指定袋の処理方法の採用経緯



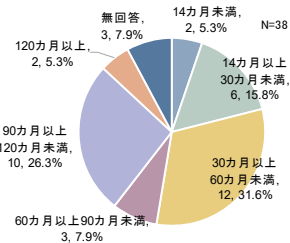
使用期限・堆肥化期間、コンポスの状態・出荷方法

- 生分解性プラスチック製指定袋を導入（または検討）している市区町村に対し、生分解性プラスチック製指定袋の使用期限・堆肥化期間、コンポスの状態・出荷方法について伺った。
 - 使用期限については、「12か月以上18か月未満」が55.3%、「6か月以上12か月未満」が15.8%であった。
 - 堆肥化期間については、「30か月以上60か月未満」が31.6%、「90か月以上120か月未満」が26.3%、「14か月以上30か月未満」が15.8%であった。
 - コンポスの状態・出荷方法については、「目で見えなくなるまで分解しているが、念のため異物の選別を行った上で出荷している」が44.7%、「目で見えなくなるまで分解しており、異物の選別をせずに出荷している」と「一部、分解せずに残っているため、異物の選別を行った上で出荷している」がいずれも15.8%であった。

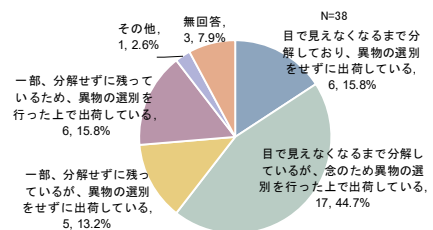
使用期限



堆肥化期間



コンポスの状態・出荷方法



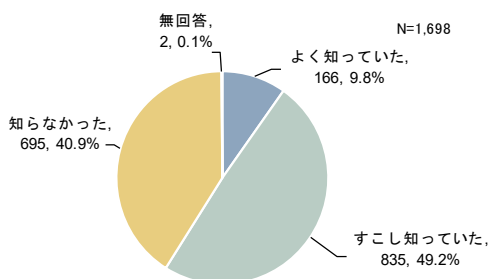
8. その他の調査結果

8.1 関連政策の認知度

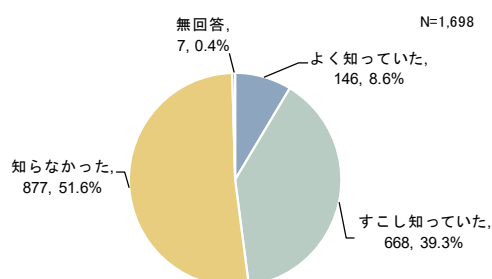
関連政策の認知度(プラスチック資源循環戦略、グリーン購入法)

- 「プラスチック資源循環戦略」の重点戦略として、可燃ごみ指定袋等へのバイオマスプラスチックの使用や、生分解性プラスチックの分解機能の発揮場面(堆肥化、バイオガス化等)の整理等が掲げられていることの認知度を伺った。
 - ・ 「よく知っていた」が9.8%、「すこし知っていた」が49.2%、「知らなかった」が40.9%であった。
- グリーン購入法においてプラスチック製ごみ袋が新規品目として定められ、[判断の基準]として「植物を原料とするプラスチック10%以上使用、または再生プラスチック10%以上使用」が定められていることの認知度を伺った。
 - ・ 「よく知っていた」が8.6%、「すこし知っていた」が39.3%、「知らなかった」が51.6%であった。

プラスチック資源循環戦略”重点戦略”の認知度



グリーン購入法 新規品目”プラスチック製ごみ袋”の認知度

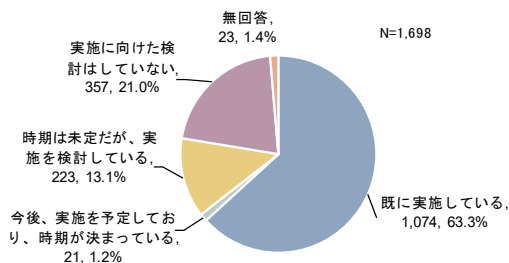


8.2 ごみ処理有料化の実施状況

家庭ごみ処理手数料有料化の実施状況

- 家庭系ごみ(粗大ごみを除く)についてごみ処理手数料の有料化の実施状況について伺った。
 - ・ 「既の実施している」が63.3%、「今後、実施を予定しており、時期が決まっている」が1.2%、「時期は未定だが、実施を検討している」が13.1%、「実施に向けた検討はしていない」が21.0%であった。

家庭系ごみ ごみ処理手数料有料化の実施状況



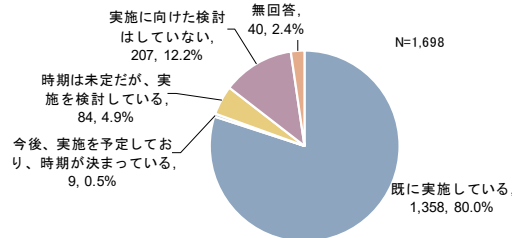
☆人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	35 100.0%	250 100.0%	254 100.0%	1,159 100.0%	1,698
1. 既の実施している	10 28.6%	117 46.8%	158 62.2%	789 68.1%	1,074 63.3%
2. 今後、実施を予定しており、時期が決まっている	0 0.0%	2 0.8%	5 2.0%	14 1.2%	21 1.2%
3. 時期は未定だが、実施を検討している	9 25.7%	49 19.6%	33 13.0%	132 11.4%	223 13.1%
4. 実施に向けた検討はしていない	16 45.7%	81 32.4%	54 21.3%	206 17.8%	357 21.0%
無回答	0 0.0%	1 0.4%	4 1.6%	18 1.6%	23 1.4%

事業ごみ処理手数料有料化の実施状況

■ 事業系ごみについてごみ処理手数料の有料化の実施状況について伺った。

- 「既の実施している」が80.0%、「今後、実施を予定しており、時期が決まっている」が0.5%、「時期は未定だが、実施を検討している」が4.9%、「実施に向けた検討はしていない」が12.2%であった。
- 人口規模別にみると、人口規模が大きい自治体ほど「既の実施している」の割合が大きく、人口規模が小さい自治体ほど「実施に向けた検討はしていない」ことがわかる。

事業系ごみ ごみ処理手数料有料化の実施状況



★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	4 11.4%	3 1.2%	4 1.6%	3 0.3%	14 0.8%
1. 既の実施している	32 91.4%	223 89.2%	220 86.6%	883 76.2%	1,358 80.0%
2. 今後、実施を予定しており、時期が決まっている	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	7 0.6%	9 0.5%
3. 時期は未定だが、実施を検討している	1 2.9%	6 2.4%	4 1.6%	73 6.3%	84 4.9%
4. 実施に向けた検討はしていない	1 2.9%	18 7.2%	21 8.3%	167 14.4%	207 12.2%
無回答	1 2.9%	2 0.8%	8 3.1%	29 2.5%	40 2.4%

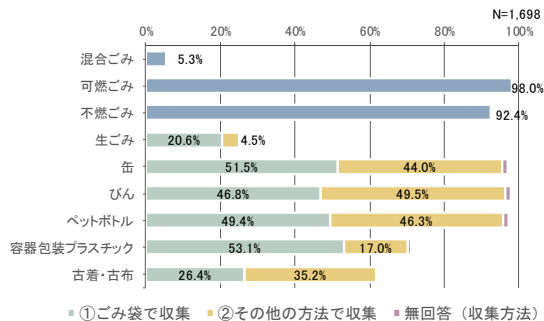
8.3 家庭系ごみ・事業系ごみの収集・処理

家庭系ごみの分別区分・ごみ袋の使用有無

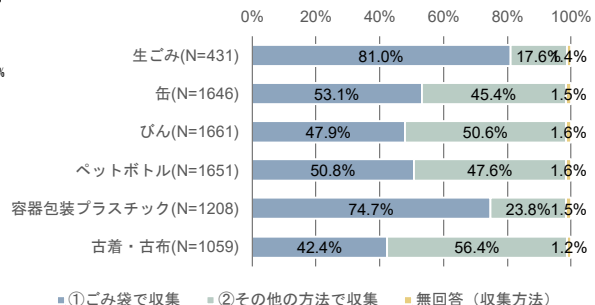
■ 全市区町村に対し、家庭系ごみの分別区分を伺った。また、生ごみ・缶・びん・ペットボトル・容器包装プラスチック・古着古布については、回収時のごみ袋の使用有無について伺った。

- 「生ごみ」の分別区分を設けている市区町村は、25.4%であった。
- ごみ袋の使用有無をみると、「生ごみ」が81.0%、「缶」が53.1%、「びん」が47.9%、「ペットボトル」が50.8%、「容器包装プラスチック」が74.7%、「古着・古布」が42.4%であった。

家庭系ごみの分別区分・ごみ袋の使用有無



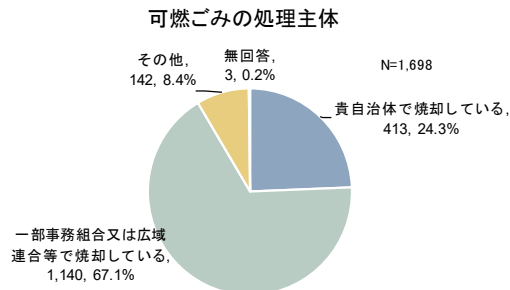
ごみ袋の使用有無



可燃ごみの処理主体

■ 全市区町村に対し、可燃ごみの処理主体について伺った。

- 「一部事務組合又は広域連合等で焼却している」が67.1%、「貴自治体で焼却している」が24.3%であった。「その他」の内容としては「民間事業者への委託」「固形燃料化」「埋立処理」などが挙げられていた。

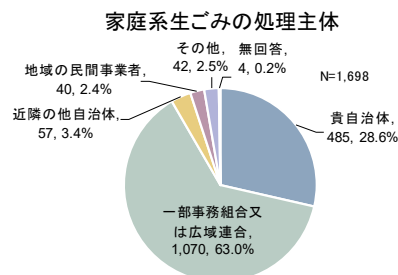


★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	35 100.0%	250 100.0%	254 100.0%	1,159 100.0%	1,698 100.0%
1. 貴自治体で焼却している	24 68.6%	133 53.2%	86 33.9%	170 14.7%	413 24.3%
2. 一部事務組合又は広域連合等で焼却している	9 25.7%	106 42.4%	151 59.4%	874 75.4%	1,140 67.1%
3. その他	2 5.7%	11 4.4%	17 6.7%	112 9.7%	142 8.4%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.3%	3 0.2%

家庭系生ごみの処理主体・処理方法

■ 全市区町村に対し、家庭系生ごみの処理主体について伺った。

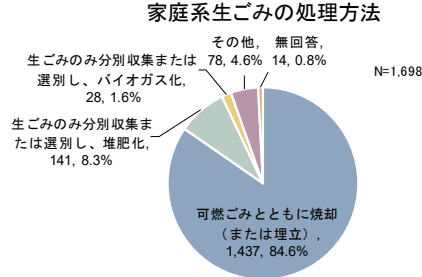
- 「一部事務組合又は広域連合」が63.0%、「貴自治体」が28.6%であった。「その他」の内容としては「地区により異なる処理主体」「自家処理」「県外の民間事業者」などが挙げられた。



★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	35 100.0%	250 100.0%	254 100.0%	1,159 100.0%	1,698 100.0%
1. 貴自治体	25 71.4%	132 52.8%	90 35.4%	238 20.5%	485 28.6%
2. 一部事務組合又は広域連合	9 25.7%	105 42.0%	144 56.7%	812 70.1%	1,070 63.0%
3. 近隣の他自治体	0 0.0%	0 0.0%	9 3.5%	48 4.1%	57 3.4%
4. 地域の民間事業者	0 0.0%	8 3.2%	6 2.4%	26 2.2%	40 2.4%
5. その他	1 2.9%	4 1.6%	4 1.6%	33 2.8%	42 2.5%
無回答	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	2 0.2%	4 0.2%

家庭系生ごみの処理主体・処理方法

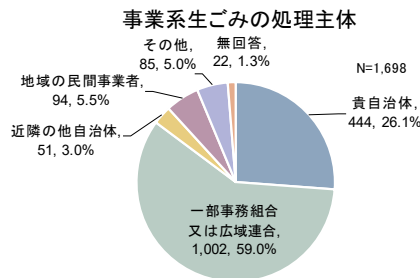
- 全市区町村に対し、家庭系生ごみの処理方法について伺った。
 - ・「可燃ごみとともに焼却(または埋立)」が84.6%を占め、「生ごみのみ分別収集または選別し、堆肥化」が8.3%であった。「その他」の内容としては「固形燃料化」の回答が多かった。



☆人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	35 100.0%	250 100.0%	254 100.0%	1,159 100.0%	1,698 100.0%
1. 可燃ごみとともに焼却(または埋立)	34 97.1%	236 94.4%	231 90.9%	936 80.8%	1,437 84.6%
2. 生ごみのみ分別収集または選別し、堆肥化	0 0.0%	4 1.6%	10 3.9%	127 11.0%	141 8.3%
3. 生ごみのみ分別収集または選別し、バイオガス化	0 0.0%	6 2.4%	4 1.6%	18 1.6%	28 1.6%
4. その他	1 2.9%	3 1.2%	8 3.1%	66 5.7%	78 4.6%
無回答	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	12 1.0%	14 0.8%

事業系生ごみの処理主体・処理方法

- 全市区町村に対し、事業系生ごみの処理主体について伺った。
 - ・「一部事務組合又は広域連合」が59.0%、「貴自治体」が26.1%であった。「その他」の内容としては「排出者により異なる」「地域により異なる」などが挙げられている。

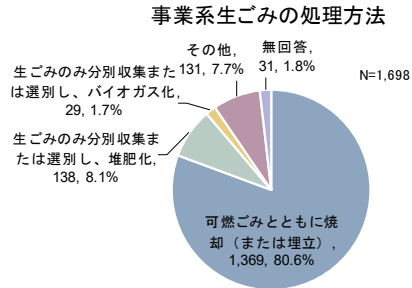


☆人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	35 100.0%	250 100.0%	254 100.0%	1,159 100.0%	1,698 100.0%
1. 貴自治体	20 57.1%	124 49.6%	82 32.3%	218 18.8%	444 26.1%
2. 一部事務組合又は広域連合	6 17.1%	100 40.0%	137 53.9%	759 65.5%	1,002 59.0%
3. 近隣の他自治体	0 0.0%	0 0.0%	6 2.4%	45 3.9%	51 3.0%
4. 地域の民間事業者	3 8.6%	10 4.0%	14 5.5%	67 5.8%	94 5.5%
5. その他	6 17.1%	14 5.6%	12 4.7%	53 4.6%	85 5.0%
無回答	0 0.0%	2 0.8%	3 1.2%	17 1.5%	22 1.3%

事業系生ごみの処理主体・処理方法

■ 全市区町村に対し、事業系生ごみの処理方法について伺った。

- ・「可燃ごみとともに焼却(または埋立)」が80.6%、「生ごみのみ分別収集または選別し、堆肥化」が8.1%、「生ごみのみ分別収集または選別し、バイオガス化」が1.7%であった。「その他」の内容としては「固形燃料化」の回答が多かった。

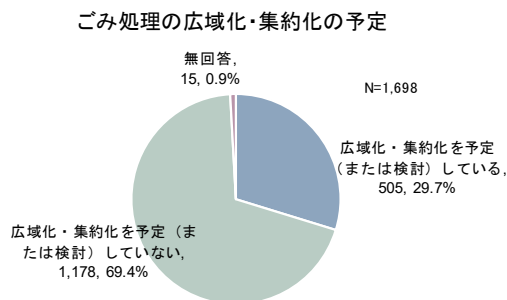


★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	35 100.0%	250 100.0%	254 100.0%	1,159 100.0%	1,698 100.0%
1. 可燃ごみとともに焼却(または埋立)	28 80.0%	224 89.6%	219 86.2%	898 77.5%	1,369 80.6%
2. 生ごみのみ分別収集または選別し、堆肥化	1 2.9%	4 1.6%	12 4.7%	121 10.4%	138 8.1%
3. 生ごみのみ分別収集または選別し、バイオガス化	0 0.0%	4 1.6%	4 1.6%	21 1.8%	29 1.7%
4. その他	6 17.1%	15 6.0%	17 6.7%	93 8.0%	131 7.7%
無回答	0 0.0%	3 1.2%	2 0.8%	26 2.2%	31 1.8%

ごみ処理の広域化・集約化の予定

■ 全市区町村に対し、ごみ処理の広域化・集約化の予定について伺った。

- ・「広域化・集約化を予定(または検討)していない」が69.4%、「広域化・集約化を予定(または検討)している」が29.7%であった。



★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	35 100.0%	250 100.0%	254 100.0%	1,159 100.0%	1,698 100.0%
1. 広域化・集約化を予定(または検討)している	6 17.1%	66 26.4%	70 27.6%	363 31.3%	505 29.7%
2. 広域化・集約化を予定(または検討)していない	27 77.1%	182 72.8%	183 72.0%	786 67.8%	1,178 69.4%
無回答	2 5.7%	2 0.8%	1 0.4%	10 0.9%	15 0.9%

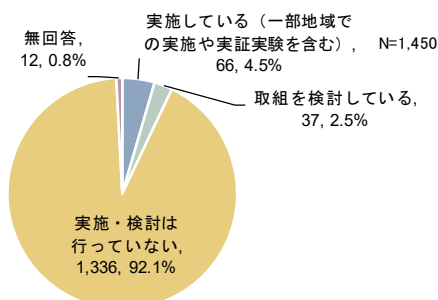
8.4 その他のごみ袋の導入

プラスチック製買物袋の指定ごみ袋としての利用

■ 指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、プラスチック製買物袋を指定ごみ袋として使用可能にする取組の実施有無を伺った。

- ・「実施している(一部地域での実施や実証実験を含む)」が4.5%、「取組を検討している」が2.5%であった。

プラスチック製買物袋の指定ごみ袋としての利用の取組 実施状況

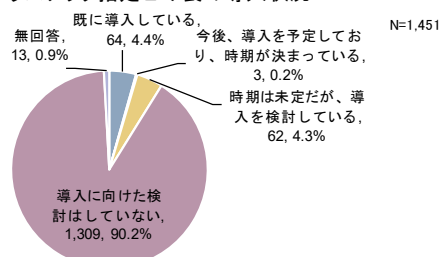


再生プラスチック指定ごみ袋 導入状況

■ 指定袋を導入(または検討)している市区町村に対し、再生プラスチック指定袋の導入状況を伺った。

- ・「既に導入している」が4.4%、「今後、導入を予定しており、時期が決まっている」が0.2%、「時期は未定だが、導入を検討している」が4.3%、「導入に向けた検討はしていない」が90.2%であった。
- ・なお人口カバー率では、「既に導入している」が2.9%、「時期は未定だが、導入を検討している」は8.9%であった。

再生プラスチック指定ごみ袋の導入状況

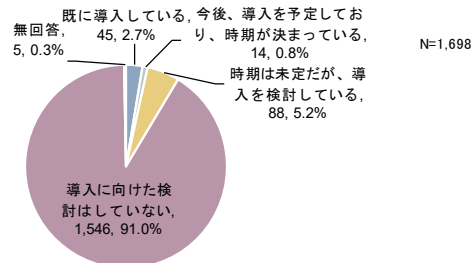


☆人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	20 100.0%	181 100.0%	217 100.0%	1,033 100.0%	1,451 100.0%
1. 既に導入している	1 5.0%	11 6.1%	7 3.2%	45 4.4%	64 4.4%
2. 今後、導入を予定しており、時期が決まっている	0 0.0%	3 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.2%
3. 時期は未定だが、導入を検討している	6 30.0%	7 3.9%	10 4.6%	39 3.8%	62 4.3%
4. 導入に向けた検討はしていない	12 60.0%	158 87.3%	197 90.8%	942 91.2%	1,309 90.2%
無回答	1 5.0%	2 1.1%	3 1.4%	7 0.7%	13 0.9%

バイオマスプラスチック・バイオマス複合プラスチック製ボランティア袋

- 全市区町村に対し、バイオマスプラスチック・バイオマス複合プラスチック製ボランティア袋の導入状況について伺った。
- ・「導入に向けた検討はしていない」が91.0%、「時期は未定だが、導入を検討している」が5.2%、「既に導入している」が2.7%であった。

バイオマス製ボランティア袋の導入状況

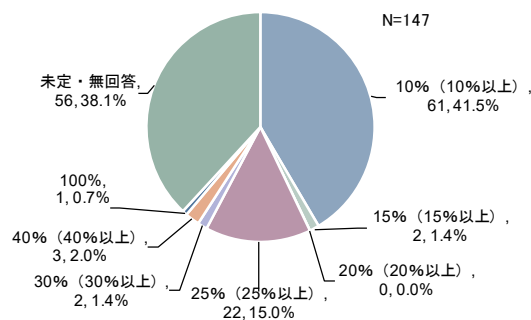


★人口規模別	1)50万人以上	2)10万人以上	3)5万人以上	4)5万人未満	合計
合計	35 100.0%	250 100.0%	254 100.0%	1,159 100.0%	1,698
1. 既に導入している	8 22.9%	12 4.8%	5 2.0%	20 1.7%	45 2.7%
2. 今後、導入を予定しており、時期が決まっている	2 5.7%	5 2.0%	4 1.6%	3 0.3%	14 0.8%
3. 時期は未定だが、導入を検討している	6 17.1%	19 7.6%	15 5.9%	48 4.1%	88 5.2%
4. 導入に向けた検討はしていない	18 51.4%	213 85.2%	229 90.2%	1,086 93.7%	1,546 91.0%
無回答	1 2.9%	1 0.4%	1 0.4%	2 0.2%	5 0.3%

バイオマスプラスチック・バイオマス複合プラスチック製ボランティア袋

- バイオマスプラスチック・バイオマス複合プラスチック製ボランティア袋を導入(または検討)している市区町村に対し、バイオマス配合率について伺った。
- ・「10%(10%以上)」が41.5%、「15%(15%以上)」が1.4%、「20%(20%以上)」が0.0%、「25%(25%以上)」が15.0%、「30%(30%以上)」が1.4%、「40%(40%以上)」が2.0%、「100%」が0.7%であった。

バイオマス製ボランティア袋のバイオマス配合率



(以上)